

6回関西みみはなのど治療研究会

今年はやや涼しい夏でしたが、いつのまにか秋らしい風が心地良く感じられる気候となってまいりました。先生方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成26年9月6日土曜日に例年通り大阪中之島・リーガロイヤルホテルにおいて、第6回関西みみはなのど治療研究会を開催させていただきました。ご多忙にもかかわらず、ご参加いただきました先生方には改めて御礼申し上げます。

昨年、内容を少し欲張りすぎたため、終了時間が遅くなってしまった反省をふまえ、今回は中耳手術にテーマを絞りそれぞれの手術方法を極めておられる三人の先生方によるパネルディスカッションの形式をとらせていただきました。



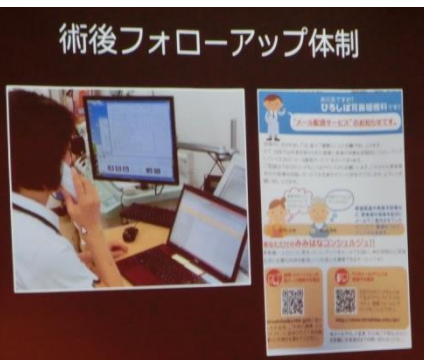
◆一般演題 座長 村上匡孝先生（村上クリニック院長）

◎一題目「当院における中耳疾患、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、音声疾患に対する治療現状」 演者 廣芝 新也（ひろしば耳鼻咽喉科 院長）

手術センター立ち上げから4年が経過しました。中耳疾患、鼻疾患の手術件数は堅調に推移していますが、昨年の研究会でもとりあげました痙攣性発声障害に対する甲状軟骨形成術の手術件数が飛躍的に伸びています。また、本年1月より荻野枝里子医師が常勤として着任し、手術枠を増設し月曜日から金曜日までの平日に毎日手術を行うことができる体制を整えました。ハード面では手術室を増設し、鼻手術と音声手術などを並列で行える体制を整えました。また、中耳手術においては内視鏡を導入しました。顕微鏡手術で死角になりやすい部位の確認などに今後威力を発揮できるのではないかと考え、早速手術に取り入れております。鼻内視鏡手術ではナビゲーションシステムを導入しました。術中の操作部位がCT画像上に反映されることで、より安全で積極的な手術を行えるようになったと実感しております。今後はより一層の手術手技の向上を目指し、学会活動なども積極的に行っていく所存です。そして手術を受けられた方が当院で手術をうけられたことに満足していただけるような環境づくりも引き続き努力していきますので、今後ともご紹介等をよろしくお願い申し上げます。



座長 村上匡孝先生



◎二題目「当院における鼻外来、鼻科手術の現況」

演者 荻野 枝里子（ひろしば耳鼻咽喉科・京都みみはな手術センター 医師）



当院における鼻内視鏡手術の現況、嗅覚外来について、自己紹介もかねてお話させていただきました。鼻内視鏡手術は本年より年間200件の手術を行うことができる体制となりました。手術症例は、好酸球性副鼻腔炎などの重症副鼻腔炎の手術件数が増加しています。好酸球性副鼻腔炎は鼻茸の再発率が高いという問題がありますが、上述のナビゲーションシステムの導入によるより確実な手術や、術後の丁寧なフォローなどで制御率の向上につながるよう努力する所存です。また後鼻神経切断術に関しては、神経切断の際の蝶口蓋動脈の温存の有無が自覚症状の変化に影響するかを調査し、動脈温存、切断によって自覚症状改善率の相違が無いことがわかりました。長期成績の評価も必要ですが、遅発性術後出血は確実に減少傾向にありますので、このまま動脈温存を基本にした手術を行っていきます。

次に嗅覚外来の開設につきお話させていただきました。従来の基準嗅力検査は診療所で行うことが時間、場所の問題で難しく、嗅覚の程度をより詳細に評価することが困難でした。最近、臨床応用されはじめましたカード型嗅覚同定機能検査（オープンエッセンス）を当院で導入しましたのでご紹介させていただきました。この検査は5分ほどの時間での周りの周囲への拡散もなく、治療の時々で再評価することで患者さんに治療効果を実感していただく良さがあります。現在保険診療検査ではなく、またこの検査は現時点では研究用のキットであるため導入される際には先生方のご負担をかける形になりますが、ご興味のある先生は入手方法などをご説明いたしますので、ぜひとも当院までご連絡いただければ幸いです。



◆パネルディスカッション 座長 岩永迪孝先生（京都みみはな手術センター 所長）

◎ 「鼓室形成術に対する考え方」それぞれの立場から



1 「soft tissue reconstruction 法」

演者 高橋 晴雄 先生（長崎大学耳鼻咽喉科 教授）



2 「canal wall down and bony reconstruction 法」

演者 田邊 牧人 先生（耳鼻咽喉科サージックリニック 老木医院）



3 「canal wall up 法」

演者 和田 忠彦 先生（関西電力病院 耳鼻咽喉科）

今回はパネルディスカッション形式で、主に真珠腫に対しての手術法として、「外耳道後壁をどうするか」について、3人の先生方がそれぞれ得意とされている手術方法の説明と成績、長所と問題点についてご講演いただきました。特に治療に難渋した症例を敢えて提示していただくことで、それぞれの問題点を解決するための工夫のポイントなどがより明確に伝わるようにお話していただきました。

高橋先生は真珠腫の遺残率を下げ、なおかつ手技としての普遍性の高いものを追及し、canal wall down and soft tissue reconstruction を究めてこられました。一旦 canal wall down にすることで大きな視野を得られ、手術操作が行いやすいというメリットがあるとのこと。軟組織再建は再建部の陥凹が耳管機能の影響を受けること、再建した外耳道後壁が症例によっては乾燥しづらいなどの問題がありますが、5-FU 軟膏の使用のお話など、先生が長年取り組まれてこられた様々な工夫などを織り交ぜ、5月の宿題報告での講演の一部をもう一度聞かせていただくような、有難いご講演をいただきました。

田邊先生には canal wall down and bony reconstruction についてご講演いただきました。硬い外耳道後壁を再建するため、皮質骨をブロック状にして重ねて並べることで、中耳の機能を保ち術後処置もし易い形の外耳道を形成する、という方法を、山本悦生先生と共に長年施行されておられます。硬組織再建であっても再建部の陥凹の問題はあるようです。ただ、外耳道が狭い症例などは外耳道を拡大した形の後壁形成を行うことが術後処置においてメリットになるとのことでした。和田先生には canal wall up、外耳道後壁を温存した手術法に関してご講演いただきました。外耳道後壁は残したままいかにして視野をとるか、手術操作を行うか、そして術後の鼓膜陥凹による再形成を防ぐための薄切耳介軟骨による scutum からツチ骨周囲のカバーのポイントなどにつきお話いただきました。

三人の先生とも、それぞれの道を究めておられるだけあり、成績には大きな差はなく、手術適応に対する考え方も様々で



いらっしゃいます。最後に座長の岩永先生より症例呈示をしていただき、治療戦略につきディスカッションをお願いする予定でしたが、時間の関係上叶わなかったことが残念でした。耳科学会などでまたご討論していただく機会があるかと思います。日頃、様々な鼓室形成術後の形をした耳の処置、診察をされているご参加の先生方にとって、それぞれの手術法のポイントや術後の問題点などをじっくりと聴く機会となったことが日常診療のお役に少しでも立つことができれば、と思っております。

以上ご報告させていただきました。第7回関西みみはなのど治療研究会は1年後の平成27年9月5日(土)に同じリーガロイヤルホテル大阪にて予定しております。皆様方のご参加お待ち申し上げます。(文責：荻野枝里子)

懇親会



第6回みみはな Cup 於 田辺カントリー

研究会の翌日の9月7日(日)に第6回みみはなのど Cup を開催いたしました。次回も来年の9月6日(日)に同じ田辺カントリーで開催予定です。コンペだけのご参加も大歓迎です。ご参加お待ちしております。

優勝者コメント

優勝者 後藤英一郎 先生

今年の8月は、各地で大雨による土砂災害が起こり、京都も例年の3倍以上の降雨量で、9月に入っても、8月同様、集中豪雨が続き、コンペ前日も大雨警報が発令され、コンペ当日のスタートから前半は、雨の予想でしたが、予想よりも早く天気が回復し、傘もささずにラウンドすることができました。コースコンディションも素晴らしく、メンバーにもハンデにも恵まれ、優勝させていただきました。ゴルフレッスンを受けるようになって数年が経つのですが、ようやく悩みのチーピン、フックは最近治まりつつあります。反対に本日は、極端なスライスで大叩きをするホールがいくつかありましたが、ラッキーなことに大叩きをしたホールはカウントされ、バーディホールはカウントされず、たまたま、優勝することができました。何よりも最終18番のバーディは、まだ、残像が目に焼き付いています。本日は、本当にありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。

手術見学についてのお知らせ



毎年ご案内申し上げておりますが、手術見学は随時受け入れ可能です。この1年でも多くの施設から見学にお越しいただきました。開業するとどうしても手術に携わる機会が減ってしまいますが、外来診療への刺激を与える意味でも見学していただくことは有益ではないかと考えております。

現在月曜日から金曜日まで、平日は毎日が手術日となっております。原則として、耳の手術は毎週水曜日と隔週の月曜日、鼻の手術は毎週火曜午前、木曜、金曜午前と隔週の月曜日、音声・形成関連の手術は火曜午後に行っております。

この機会に、先生方のお考えやご要望をお伺いして、今後の医療活動に生かしてゆきたいと考えております。

ご希望の方は同封の Fax 用紙でお申込みください。午前中だけ、もしくは何時から何時まで見学希望という形でも結構です。お申込みお待ちしております。(文責：荻野枝里子)

事務長のご挨拶

医療法人顕夢会 事務長 山田昌彦

第6回関西みみはなの治療研究会へ多数ご参加いただきましたこととお礼申し上げます。

当院では、荻野先生を新たに迎え入れ、新しい発想でバリバリ活躍いただいております、より一層皆様のお役に立てる態勢が整ったものと思っております。

また、今回は懇親会において少し工夫を凝らして、当院のスタッフによるピアノの生演奏で皆さまをお迎えするなど、趣向を凝らして「お・も・て・な・し」をさせていただきました。

手前味噌になりますが、バックミュージックと違って、ピアノの生演奏により、懇親会場に和やかな雰囲気が醸し出され、テーブルのあちこちで談笑の輪が出来ていて、例年以上の盛り上がりを見せていたように感じました。同時に、ご参加いただいた先生方も楽しく懇親を深めていただけたのではないかと考えております。来年も是非、ごぞってご参加ください。

また、日頃は患者さんのご紹介をいただくなど、大変お世話になっております近隣の開業医の先生方のご意見をお伺いするために、適宜ご訪問をさせていただいております。

先生方のご要望により一層お応え出来ればと思っておりますので、今後ご挨拶にお伺いさせていただいた際には、忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます



ひろしば耳鼻咽喉科
京都みみはな手術センター

〒610-0355
京都府京田辺市山手西 2-2-3 日東西ビル 2F・3F
TEL : 0774-64-0789(外来受付) 0774-46-8719(手術相談)
FAX : 0774-64-0872
<http://www.hiroshiba.com/> <http://www.kyoto3387.jp/>